

厚生労働科学研究費補助金  
障害者対策総合研究事業（障害者政策総合研究事業（精神障害分野））  
アルコール依存症に対する総合的な医療の提供に関する研究  
（研究代表者 樋口 進）

平成 28 年度総括分担研究報告書  
アルコール依存症の普及・啓発に関する研究  
研究分担者 米山 奈奈子  
国立大学法人秋田大学大学院医学系研究科精神保健看護学 教授

研究要旨

平成 27 年度作成したアルコール依存症の普及啓発に関する DVD を、今年度新たに全国の市保健センター等 794 か所に配布した。昨年度配布した全国の精神保健センター 69 か所および全国保健所 480 か所（平成 27 年度）と国立病院及び自治体立病院 175 か所、全国市保健センター等 794 か所を対象として、DVD の評価に関するアンケート調査を行った。その結果 102 施設より回答があった。DVD の内容はほぼ理解できた割合が高かったが、当事者及び家族の回復に繋がる効果的な支援の方法についてあまり知らない・全く知らないと答えた割合が 27%であった。またアルコール依存症の相談を受ける場合に 8 割以上の施設で困っていることがあると回答し、その内訳では多い順に相談技術の不足、連携できる医療機関が少ない、マンパワーの不足があげられた。

A．研究目的

アルコール依存症に関する知識の普及・啓発及び相談活動の促進を目指して作成した DVD の評価を行うことを目的とし、今後のアルコール依存症の啓発活動のための示唆を得る。

B．研究方法

全国の精神保健福祉センター 69 か所・全国の保健所 480 か所・精神科病床を有する全国の国立病院機構および自治体立病院 175 か所・全国市保健センター等 794 か所に、アルコール依存症の普及・啓発に関する DVD に評価アンケートを同封し、DVD を視聴した後で評価アンケートに任意で協力していただけるよう書面で研究協力について依頼した。アンケートは施設の職員の無記名自記式で記入するもので、研究者あてにファックスで返送していただくよう依頼した。返送された調査票は、単純集計を行った。

なお、調査への協力がない場合であっても各機関には不利益がないことを書面に明記した。調査期間は 2017 年 1 月 30 日から 2 月 28 日。

本研究は秋田大学医学部倫理審査委員会の

承認を経ている。

C．研究結果

回答があった調査票は 102 枚で、回収率 6.7%。102 枚を全て有効回答とした。DVD を視聴してアルコール依存症が回復する可能性がある病気であることがよく理解できた、だいたい理解できたを合わせると 93.1%、あまり理解できなかったは 6.9%。アルコール依存症のご家族が相談できる場所があること、および相談窓口としての精神保健福祉センター・保健所や保健師の役割についてはほぼ理解されていた。しかし、当事者支援のための効果的な支援の方法について、よく知っていたは 28.7%、言葉だけ知っていたは 43.6%、一方で、あまり知らなかった・全く知らなかったを合わせると 27.7%であった。また、職場でアルコール依存の相談を受ける場合に困っていることがあると答えた施設の割合は、83.3%で、その内訳は多い順に、相談技術の不足、連携できる医療機関が少ない、マンパワーの不足、知識不足・研修会などの機会がない、自助グループなどの情報が少ないことが

あげられた。DVD の活用については、試しに職員で視聴(65 施設)、職員等の研修で視聴(27 施設)が多かったが、一般住民向けの健康講座などで活用(12 施設)、一般向けに健診等の待ち時間に活用(6 施設)、必要な人に貸し出している(29 施設)であった。自由意見では、困難ケースの対応をさらに考えてほしいという意見があった一方で、『健康講座に活用した。受講された方は頷きながら視聴していた。』『今まではアルコール依存症のご本人に対し、治療を強制できない、本人の意志が重要と考えていた。しかし、この DVD を視聴して考えが変わった。ご本人が治療の意志がない段階でも、家族や医療職が根気強く関わることの重要性に気づくことができた。』という感想が述べられていた。

#### D . 考察

アルコール依存症者の当事者及び家族への効果的な支援方法については、特に行政や市役所の保健センターでスキルアップを目指すニーズが高いと考えられる。しかし、実際にはほとんど相談を受けていない・関わっていないという施設もあるため、今後も相談技術を広める活動は非常に重要であると考えられる。また、少数意見だが、アルコール依存症当事者への関わり方や考え方を見直す契機になったという意見もあり、今回の DVD 作成および配布が一部の医療関係者のアルコール依存症の理解を深める一助になったのではないかと考えられる。